

日 本 史

(問 題)

2014年度

〈2014 H26081119〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

古代の歴史書の成立と展開について概観してみよう。

ある時代、ある社会のできごとを後世に伝達するために、古くは語り部の暗誦によっていたが、日本では渡来人の^aもたらした漢字が広まったことで、文字でも歴史が残されるようになった。その古い例として、聖徳太子が編集に関わったとされる『天皇記』や『国記』、さらに^b『帝紀』や『旧辞』の名も知られている。日本の歴史を漢字で書くためには、さまざまな固有名詞をどのようにあらわすかが問題となるが、^c5世紀後半から6世紀前半には、漢字の音を借りて人や土地の名を記述したことが明らかな資料があらわれている。

律令国家の整備・確立期に入り漢字の使用が支配者層で一般化するにつれて、行政文書や歴史書ばかりでなく、^d仏教經典の書写や研究も始まり、貴族の教養とされた漢詩文の流行は^e大津皇子らのすぐれた作品を生み出した。この影響で日本古来の和歌に新しい定型様式があらわれると、皇族・貴族層から庶民にいたるまでさかんに詠まれ、優れた作品が記録されるようになった。また、歴史書というより地誌とよぶ方がふさわしいが、諸国の地名の由来や伝説、特産品などを記した『風土記』の編纂も行われた。

歴史書の編纂は平安京に遷都した後も継続され、『続日本紀』から^f『日本三代実録』まで5つの勅撰の正史が残された。一方、正史のほかにも歴史に関連するものとして、時代が下るにしたがい混乱してきた諸氏族の系譜を明らかにする目的があったと考えられる『新撰姓氏録』や、^g菅原道真を中心に正史の内容を部門別に整理した『類聚国史』などが編まれた。また、しだいに先例を重んじる政治が一般化すると、子孫のためにさまざまな儀式や作法を伝える目的もあって、^h上級貴族のあいだではさかんに日記が書かれるようになった。

問1 下線部 a を職能としてヤマト政権の記録や外交文書の作成にあたった人々として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 錦織部 イ 画部 ウ 玉造部 エ 忌部 オ 韓鍛冶部

問2 下線部 b に関連する説明文として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 中央集権体制をめざした天武天皇は、国史作成を重んじて『帝紀』『旧辞』の編纂を命じた。
イ 『帝紀』は天皇家の皇位継承に関わる伝承、『旧辞』は古代の神話や歴史伝承を記したものである。
ウ 奈良時代に入ると、稗田阿礼が誦習した『帝紀』『旧辞』の内容をもとに『古事記』が編纂された。
エ 『古事記』は漢文主体であるが、日本語の名詞や歌謡は漢字をたくみに用いて一字一音で表記されている。
オ 『古事記』を編纂した太安万侶の墓の中からは、位階や没年を記した墓誌が発見された。

問3 下線部 c の資料として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 石上神宮七支刀 イ 神原神社古墳出土三角縁神獸鏡 ウ 埼玉稻荷山古墳出土鉄剣
エ 隅田八幡神社人物画像鏡 オ 稻荷台1号墳出土鉄剣 カ 黄金塚古墳出土文面帯神獸鏡

問4 初唐文化の影響下に仏教文化が花ひらいた白鳳期に下線部 d の対象となった仏教聖典の集成として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 過去現在絵因果経 イ 三経義疏 ウ 金光明最勝王経 エ 百万塔陀羅尼 オ 一切経

問5 下線部 e について述べた文として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 叔母である天皇を摂政として補佐し、門閥世襲の打破、天皇のもとでの支配秩序の強化を図った。
イ 早くから国政に参加したが、天皇である父の死の直後に謀反の疑いで捕らえられ自殺した。
ウ 有力な皇位継承者とみなされていたが、自宅の宮を豪族に急襲され、一時は逃れたものの自殺した。
エ 早くから立太子したが、皇位継承のライバルであった異母弟の死後、皇太子のまま死去した。
オ 天皇である父の不遇の死後、新天皇の打倒をめざして挙兵を企てたが、捕らえられて刑死した。

問6 下線部 f に事跡の描かれた3天皇の組合せとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 淳仁・称徳・光仁 イ 清和・陽成・光孝 ウ 桓武・平城・嵯峨
エ 淳和・仁明・文徳 オ 宇多・醍醐・朱雀

問7 下線部 g は醍醐天皇により 1 に任じられたが、のちに讒言のため 2 に左遷された。空欄1・2の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 左大臣・下野薬師寺 イ 左大臣・大宰権帥 ウ 右大臣・大宰権帥
エ 右大臣・大宰少貳 オ 大納言・大宰少貳 カ 大納言・下野薬師寺

問8 下線部 h のうち『御堂関白記』の著者は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 藤原実頼 イ 藤原頼通 ウ 藤原実資 エ 藤原基経 オ 藤原道長

Ⅱ 次の文章および史料を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

平安時代末に京都や奈良であられる商工業者の座は、大寺社や公家を 1 として従属し、奉仕の見返りとして保護を得るものであった。鎌倉時代後期以降、莊園や公領からの年貢収入が先細り、商品流通が盛んになると、特定の官衙などが 1 となって商工業者に営業税を賦課し、納めた者にのみ営業を認める風潮が生じた。やがて座役を納める同業者ごとの座が結成されるようになり、寺社などに従属する座も同様の性格をもつようになった。室町時代になると座は、関銭の免除や販売独占などの特権を得て、社会各層に顧客を広げて営業を拡大し、しだいに 1 からの自立性を高めていった。

商品流通経済を発展させたのは座商人ばかりではない。下の史料の出典は、14世紀中頃に成立したとされる往来物である。この史料中には、運送業・金融業に従事する人々が多く挙げられている。例えば、瀬戸内水運の要港であった室津や 2 における船頭、京都へつながる物流の結節点にあたる淀川河口の刀禰など、各地域に特徴的な業態とその呼称がたいへん興味深い。

中世の商人には、このように多様な存在形態があった。戦国期以降、京都・堺・博多などの都市に豪商があらわれて、戦国大名や統一権力と結びついて御用商人化すると、商業の近世化がはじまるのである。

史料 仰せ下さるの旨、畏て拝見仕り候いおわんぬ。そもそも先度の御事書について、芸才(注1)七座の店、諸国商人、旅客宿所、運送売買の津、ことごとく遵行せしめ候。交易合期(注2)、公私潤色、何事かこれに如かんや。(中略)およそ京の町人、浜の商人、鎌倉の詔物(注3)、宰府の交易、室・2の船頭、淀河尻の刀禰、大津・坂本の馬借、鳥羽・白河の車借、泊々の3、湊々の替銭、浦々の4、割符をもってこれを進上す。(中略)交易売買の利潤は、四条五条の辻に超過し、往来出入の貴賤は、京都・鎌倉の町に異ならず。およそ御領豊饒にして、甲乙人富裕せしめ、屋作の家風は尋常にして、上下すでに神妙なり。急ぎ御下着あつて高覧あるべきか。すべからく御迎の夫力者を催し進むべし。恐々謹言

卯月十一日

中務丞日奉

進上 采女正殿 御返事

(注1) 芸才：職人・芸能者。 (注2) 合期：物事がうまくゆくこと。 (注3) 詔物：注文の品物。

問1 空欄1に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 別当 イ 本家 ウ 本所 エ 領家 オ 所司

問2 下線部aのうち、京都近郊の大山崎を拠点とした座が、畿内など約10ヵ国で販売独占権をもっていた商品はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 麴 イ 青苧 ウ 材木 エ 白粉 オ 魚

問3 下線部bに関する説明として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 手紙の往信や返信の模範文の体裁をとっている。
- イ 歌人で商人でもある饅頭屋宗二の作とされる。
- ウ 武家や公家の識字教育の教本として用いられた。
- エ 武家の交際や日常生活に必要な教養が身に付くようになっている。
- オ 江戸時代には寺子屋の教科書として多量の版本が流布した。

問4 空欄2には関所が設けられ、管轄する東大寺が徴収した関銭帳簿が一部残っている。これに該当する地名はどれか、1つ選べ。

- ア 鞍 イ 兵庫 ウ 坊津 エ 尾道 オ 安濃津

問5 下線部cの代表的な人物のうち、博多の商人で茶人でもあり、織田信長や豊臣秀吉と深い結びつきをもった人物は誰か、1つ選べ。

- ア 茶屋四郎次郎 イ 高三隆達 ウ 今井宗久 エ 島井宗室 オ 小西隆佐

問6 下線部dに関する説明として正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 馬借の活動は、おもに琵琶湖岸の大津や坂本と東国を結ぶ交通路でさかんだった。
イ 馬借は車借に比べて、一度にその数倍の物資を運ぶことができるため有利だった。
ウ 車を人力で引いて物資を運搬した車借は、道路の整備された地域で活躍した。
エ 『石山寺縁起絵巻』には、関所を通過する車借の様子が描かれている。
オ 正長の徳政一揆は、坂本の馬借の蜂起をきっかけにおこった。

問7 空欄3は貨幣流通の要となる都市的な場にみられた高利貸業者であり、空欄4は商品の運搬・保管・委託販売をおこなう総合的運送業者である。空欄3・4に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 借上・問丸 イ 酒屋・問丸 ウ 土倉・仲間
エ 借上・仲間 オ 酒屋・夫丸 カ 土倉・夫丸

問8 下線部eに関する説明として正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア わりふと読み、商人の身分証明証として機能した。
イ わりふと読み、これと引き替えに借銭の利子分が支払われた。
ウ われふと読み、質の粗悪な私鑄銭のことを指した。
エ さいふと読み、商人が銭を入れて持ち歩く道具であった。
オ さいふと読み、為替手形として遠隔地間の取引に用いられた。

Ⅲ 次の文章および史料を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

17世紀後半から日本の古典の研究が盛んになった。18世紀になると、こうした古典研究を通じて、仏教や儒教など中国からの外来思想がもたらされる以前にあった、日本の文化を探究する学問が起こった。

次の史料は、伊勢松坂の町人出身で医業を営むかたわらこの学問を修めた 1 が、初めて学ぶ者にその方法を説いた書物の一節である。

史料 2 をよくまなぶべし。此書は、歌の集なるに、二典の次に挙て、道をしるに甚益ありといふは、心得ぬことと人おもふらめども、わが師の大人の古学のをしへ^a、専らここにあり。其説に、 3 の道をしらんとならば、まづいにしへの歌をよみ、次に古の文を学びて、古ぶりの文をつくりて、古言をよく知りて、 4、 5 をよくよむべし。古言をしらでは、古意はしられず、古意をしらでは、 3 の道は知りがたかるべし。

この書物が刊行される約10年前、将軍 6 の下で 7 は改革をすすめ、林家に朱子学以外の学問を聖堂で教えることを禁じた。また、朱子学を修めた者を幕吏に登用することとした。こうした朱子学正学化の動きは諸藩の藩校に広がったが、儒学全体の学問的な活力は失われていった。

一方、 1 以後 8 が出来、日本古代の神を万物の創造主とし、尊王思想を主張する国粹的な復古神道の理論を唱えた。これは、各地の神官や豪農・豪商に受け入れられて、のちに尊王攘夷運動に大きな影響を与えることになる。また、古典を実証的に研究する動き^cもさかんになっていった。

問1 空欄1の人物に関する説明として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 霊魂の存在を否定し、無神論ともいえる合理思想を展開した。
- イ 儒教は、聖人が自分では耕さないことを合理化するために、同様の士工商の存在を許したと非難した。
- ウ 『源氏物語』などの文学の本質を「もののあわれ」の表現にあると説いた。
- エ 儒教などによって否定的な評価を受けて、いやしいとされた町人の社会的役割を強調した。
- オ 『古事記』の精緻な文献研究を完成させ、その世界には真心を失わない人間の営みがあったとした。
- カ 幕府に対して批判的であったため、著書は発禁処分となり蟄居を命じられた。

問2 空欄2に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 万葉集 イ 古今和歌集 ウ 和漢朗詠集 エ 新古今和歌集 オ 金槐和歌集

問3 下線部 a および空欄4・5に該当する書名はどれか、2つ選べ。

- ア 古事記 イ 日本書紀 ウ 古語拾遺
エ 旧事本紀 オ 続日本紀 カ 風土記

問4 下線部 b に該当する人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 下河辺長流 イ 契沖 ウ 荷田春満 エ 賀茂真淵 オ 本居宣長

問5 空欄3に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 武士 イ 歌 ウ 大和 エ 法 オ 敷島

問6 空欄6・7に該当する人名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ア 家継・新井白石 | イ 家継・田沼意次 | ウ 家重・松平定信 |
| エ 家重・新井白石 | オ 家斉・田沼意次 | カ 家斉・松平定信 |

問7 空欄8に該当する人名と、その著作の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | | |
|---------------|------------|------------|
| ア 藤田東湖・弘道館記述義 | イ 藤田東湖・山陵志 | ウ 平田篤胤・古史伝 |
| エ 平田篤胤・弘道館記述義 | オ 蒲生君平・山陵志 | カ 蒲生君平・古史伝 |

問8 下線部cに関する説明として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 塙保己一は幼時に失明したが、本居宣長の門人となり、学問を修めた。
- イ 塙保己一は多くの洋書を収集してそれらを翻訳し、『群書類従』を刊行した。
- ウ 塙保己一は官立の学問所で行われていた、律令・歴史の研究の独立を幕府に建議した。
- エ 塙保己一は幕府の援助を受けて、和学講談所を創設した。
- オ 伴信友は本居宣長の没後の門人であり、古典の考証や歴史の研究を行なった。
- カ 伴信友は『玉勝間』などを著し、神道へ傾斜していった。

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

19世紀半ば以来、日米関係は日本の国のあり方に影響を与えつづけてきた。アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが軍艦をひきいて浦賀沖に来航すると、1854年、幕府はアメリカと日米和親条約^aを結び、さらにその後、日米修好通商条約に調印した。こうして、200年以上続いた鎖国政策が終わった。

明治新政府は、条約改正の予備交渉と欧米の制度、文物を視察するために岩倉使節団^bを米欧諸国に派遣した。これは画期的なできごとであった。

富国強兵策を進めた日本は、日清戦争に勝利し、その後ロシアとの戦争にも踏み切った。しかし、ロシアとの長期戦を回避したかった日本は、セオドア＝ローズヴェルト大統領の斡旋を受け入れ、1905年9月にロシアと講和条約^cを結び、ロシアから中国大陆における権益を引き継いだ。

第一次世界大戦で「五大国」の一員となった日本は、ウィルソン大統領が打ち出した平和原則14カ条^dをうけて、世界における発言力を拡大していった。

1921年11月、日本はアメリカが呼びかけたワシントン会議^eに参加し、翌年には中国の門戸開放と領土保全を約束した九カ国条約に調印した。日本はこの条約で、いわゆる満蒙特殊権益を列強に容認させることに成功した。しかし、1931年に満州事変が起ると、アメリカは関東軍が引き起こした新事態を承認しないとの声明を発表し、日本に対する経済制裁を示唆した。

日中戦争が始まると、アメリカは、日本の中国政策をアメリカの東アジア政策への挑戦と見なし、1939年7月、日米通商航海条約の廃棄を日本側に通告した。日米両国は戦争を回避するための交渉を行ったが、日本は1941年7月以降の一連の御前会議^fをへて、英米に対する開戦を最終的に決定した。緒戦の日本軍は東南アジアから南太平洋にかけての広大な地域を制圧したが、1942年6月のミッドウェー海戦で劣勢となった。ヨーロッパでイタリアとドイツが相次いで降伏したあと完全に孤立した日本は、1945年8月、ポツダム宣言を受諾して敗戦をむかえた。

戦後、アメリカによる事実上の単独占領が行なわれ、日本は一連の民主化政策^gを推進した。農村では、地主・小作関係を基礎とする地主制^hが解体された。1952年4月、サンフランシスコ平和条約ⁱの発効と同時に、アメリカの占領が終結し、日本は独立国家として再出発した。

問1 下線部aの条項として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 日本は、日本に滞在する米国民への領事裁判権を認めること。
- イ 日本は、下田と箱館の2港を開くこと。
- ウ 日本は、開港場に居留地を設けること。
- エ 日本は、アメリカに一方的な最恵国待遇を与えること。
- オ 日本は、アメリカ船が必要とする燃料と食料を供給すること。
- カ 日本は、アメリカの難破船や乗組員を救助すること。

問2 下線部bが出発した後のできごととして、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア アメリカの技術指導を得て、新橋－横浜間に鉄道が敷設された。
- イ イギリスの技術指導を得て、富岡製糸場が建設された。
- ウ 東京・横浜間に電信が開通した。
- エ 地租改正条例が公布された。
- オ 兌換銀行券を発行する国立銀行が設立された。
- カ 工部省が設置された。

問3 下線部cに調印した日本全権は誰か。1人選べ。

- ア 青木周蔵 イ 加藤高明 ウ 小村寿太郎 エ 西園寺公望 オ 陸奥宗光

問4 下線部 d の内容として、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 民族自決 イ 軍備縮小 ウ 秘密外交の廃止
エ 国際平和機関の設立 オ 経済的障壁の除去

問5 下線部 e に関連して、関係国の間で約束した事項として、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 太平洋諸島の現状維持
- イ 太平洋問題に原因する紛争の話し合いによる解決
- ウ 日英同盟の終了
- エ 石井・ランシング協定の改定
- オ 山東省における旧ドイツ権益の中国への返還

問6 下線部 f に関連して、第一次近衛内閣期に制定、発表されたものとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。
もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 「国民政府を相手とせず」 声明 イ 近衛三原則声明 ウ 東亜新秩序声明
エ 電力管理法 オ 価格等統制令

問7 下線部 g で決められたこととして，誤っているものはどれか，1つ選べ。

- ア 対米英戦覚悟の南方進出を行うこと。
- イ 情勢有利の場合には北進を実施すること。
- ウ 欧州大戦不介入方針から転換し、ドイツ・イタリア・ソ連との連携を強化すること。
- エ 日米交渉の期限を10月上旬とすること。
- オ 11月までに日本側の要求が実現できなければ、12月初旬に米英に対して武力を発動すること。

問8 下線部hに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 持株会社整理委員会は、指定された財閥家族から株式の譲渡を受けて一般に売り出した。
- イ 過度経済力集中排除法の指定を受けた、300以上の企業が実際に分割された。
- ウ 労働三法は、労働組合法、労働関係調整法、労働基準法の順で制定された。
- エ 教育基本法によって男女共学の原則が提唱された。
- オ 衆議院議員選挙法が改正された結果、有権者数は終戦前の2倍以上に拡大した。

問9 下線部 i に関連する記述として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 第1次農地改革は吉田内閣のもとで行われた。
- イ 農地調整法の改正により第1次農地改革が行なわれた。
- ウ 第2次農地改革が実施された背景には、GHQによる再検討の要求があった。
- エ 第2次農地改革を行うため、自作農創設特別措置法が公布された。
- オ 第2次農地改革で、不在地主の全貸付地を国が強制的に買い上げた。
- カ 農地改革のために、地主を除外して組織する農地委員会が設置された。

問10 下線部 i に関連する記述として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 南原繁らは全交戦国との全面講和に反対した。
- イ ソ連はサンフランシスコ講和会議に出席しなかった。
- ウ 中華民国が中国の代表として平和条約に調印した。
- エ 多くの交戦国が日本に対する賠償請求権を放棄した。
- オ 日本はフィリピンに対し賠償の支払いを行わなかった。
- カ 小笠原諸島はアメリカの施政権下におかれた。

V 次の文章および史料A～Dを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

以下の史料A・B・C・Dは、民間伝承を保持する「常民」の生活史の研究を提唱した 1 が1931年に著した『明治大正史 世相篇』の第2章「食物の個人自由」から引用したものである。現在からみれば修正すべき点も含まれているが、発表当時としては多くの卓見が述べられている。これを素材として、前近代から現代にいたる日本の食について考えてみたい。

史料A 大体から言つて、明治以降の日本の食物は、略々三つの著しい傾向を示して居ることは争へない。その一つは温かいもの、多くなつたこと、二つには柔らかいもの、好まる、やうになつたこと、其三には即ち何人も心付くやうに、概して食ふもの、甘くなつて来たことである。是に種目の増加を添へて、四つと言つてもよいのか知らぬが、此方は寧ろ結果であつた。人の好みが先づ在来のもの、外へ走つて、それが新たな色々の方法を喚び込んだので、恐らくは強ひて押し付けられたものは無かつたらうと思ふ。

史料B 上代は我々も（中略）、鹿や兎の干した肉をかじつたことがあつた。獣は久しからずして常食とするには足りなくなつたが、その次には魚や貝を、やはり煮焚きをせず、乾しただけで食べて居た。最も驚くのは炙し鮑のあぐしやくしやするものを、生のまゝで嚙んで居た。（中略）それよりも更に大きな米嚙の問題は、毎日の米の飯が柔らかくなつて来たことである。強飯といふ言葉は既に足利期の記録にも見えて居るから、強くない飯といふものが、もう其時分にも有つたわけであるが、同じ柔らかいといふ語でも今とは程度が違つて居たと思ふ。現在の御飯なるものは漢語で書くならば粥、古くはカタカユと謂つたもので、イヒとは全く別だといふことである。

史料C 醤油の歴史は、（中略）勿論生魚の味を佳ならしめんが為に、考案せられたものでも何でも無かつた。動機は寧ろ反対の精進料理、即ち寺方の嗜好品として国外から学んだものと思はれるが、日本は此種の調味料の醸造に非常に便宜の多い国であつたとおぼしく、（中略）最初は唯もろみの中の水を掬んで、塩気の代用に供したのであらうが、後には特に此為に多量の粕を搾るやうになつた。さうして明治年代が最も此生産の躍進した時期であつた。

史料D 明治は多くの街道の煮売茶屋を、追々に一膳飯屋に改造したのである。（中略）どんぶりといふ器が飯椀に代つて、天どん牛どん親子どんなどの、奇抜な名称が全国的になつたのも、すべてこの時代の新現象である。面白いことには弁当が家で無用になると同時に、別に是ばかりを当てにする生活が起り、一方には又其製造を業とする者が栄えて居る。（中略）材料から言つても調理法から見ても、日本のやうに飲食の種類の繁多な国は、世界恐らくは無類であらうと思ふ。（中略）我々の台所には革命があつた。しかも其動乱はまだ続いて居る。（中略）温かい飯と味噌汁と浅漬と茶との生活は、実は現在の最小家族制が、やつと拵へ上げた新様式であつた。

この記述をみると、私たちが古くからの伝統と思っている日本の食べもののありようや食事をめぐる風景の多くが、おもに明治以降から昭和初期にかけて成立したものであることがわかる。

さらに日本の食に関しては、戦後の経済成長・技術革新と生活様式の変化のなかで、全国の家庭の台所への上水道・燃料ガス・電化製品の普及、食の洋風化、インスタント食品・冷凍食品の発達、外食産業の飛躍的拡大などの現象がすすんだ。現代にいたる食の利便性の向上と自由度の高まりは、必ずしもよいことばかりをもたらしたわけではない。脂質の少ない食事から多い食事への変化による健康面への影響はもちろんのこと、家族がバラバラの時間・場所でひとり食事をする「孤食」化や、同じ食卓でそれぞれ別のものを食べる「個食」化など、負の側面もクローズアップされるようになった。そこに、生活リズムの乱れや家族間コミュニケーションの減少という問題点を指摘する声も多いのである。

問1 空欄1に該当する人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 柳宗悦 イ 南方熊楠 ウ 柳田国男 エ 杉浦重剛 オ 金田一京助

問2 下線部 a に関する説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 文明開化の世情のなかで獣肉食の禁忌がゆるみ、安愚楽鍋ともよばれた牛鍋が食べられるようになった。
- イ 玄米にかわり白米を食べる習慣が地方にも広まると脚気が流行し、ビタミンの発見後まで原因不明であった。
- ウ 人口の増加と都市集中が進む一方で農業生産が停滞した大正時代前半は、とくに米価の上昇が著しかった。
- エ 日中戦争が長期化するなか、米穀の購入は切符制となり、農村からの集荷も政府のもとに一元化された。
- オ 敗戦後も深刻な食糧難は続き、都市の人々は闇市での取引や農村への買出しで食べものの不足を補った。

問3 下線部 b に記された食料を獲得するため漁労に用いられた道具として、もっとも適切なものはどれか、1つ選べ。
もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 石錘 イ 鉄鍬 ウ 石皿 エ 貝輪 オ 打製石斧

問4 下線部 c に関連して、次の史料Ⅰ～Ⅲを成立時期の古い順で並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 難太平記 Ⅱ 樵談治要 Ⅲ 老松堂日本行録
- ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問5 下線部 d の江戸時代における主要な生産地の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 野田・赤穂 イ 伊丹・伏見 ウ 京都・西宮 エ 湯浅・池田 オ 竜野・銚子

問6 下線部 e に関連して、禅僧を中心として中国の影響から生みだされた文化や事物の説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 宋からもたらされた新しい建築様式が禅院に用いられるようになり、蓮華王院本堂はその代表である。
- イ 禅の公案を題材に墨の濃淡であらわす水墨画が伝えられ、しだいに自然や人の姿を描く山水画に発展した。
- ウ 禅僧が法を正しく嗣いだことを示す印として与えられたり、後に作成した師や高僧の肖像を似絵とよぶ。
- エ 渡来した中国禅僧の影響のもと、最初の日本仏教史となる『古今著聞集』が書かれた。
- オ 足利基氏に招かれて鎌倉に下った絶海中津は、禅僧らの漢詩文をさす五山文学の代表的人物である。

問7 下線部 f に関して、日本の国民総生産（GNP）が世界第2位に達する結果となった好景気として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア いざなぎ景気 イ オリンピック景気 ウ 岩戸景気 エ 神武景気 オ 列島改造ブーム

問8 史料A～Dに記された内容および関連する事項について述べた以下の説明文のうちで、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 甑で蒸した米を強飯とよび、これを乾した乾飯は携行食料に用いられた。
- イ 中世になると中国から初めて麦が伝わり、天災に強く収穫量の多いことから栽培が普及した。
- ウ 近世の街道では、薪代を払い自炊を基本とする木賃宿に加えて、旅人に食事を提供する旅籠が増えていった。
- エ 明治時代になると、カツレツ、ライスカレー、コロッケなどの洋食が新しい料理として受け入れられた。
- オ 近代以降、日本の食べものには温かいもの、柔らかいもの、甘いものが増えていった。
- カ 太平洋戦争後、都市部の家庭においては卓袱台^{ちやぶだい}を家族で囲む一家団らの食事が広まり始めた。

〔以下 余白〕

